

年 月 日

五所川原地区消防事務組合
消防署長

殿

申告者 住 所
職業(職) 電話
氏 名

動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日	物件と申告者との関係		所有者・管理者・占有者	
	り災場所					
2	世帯員	氏 名	続柄	性別	職 業	生 年 月 日
						(歳)
						(歳)
						(歳)
						(歳)
						(歳)
						(歳)
						(歳)
3	火 災 保 険 の 契 約					
	契 約 会 社 名		契 約 年 月		保 険 金 額 (万 円)	
4	り 災 物 件					
	品 名	数 量	り 災 別	損害見積額又は購入時価格(円)		※査定額
			焼損・水損・その他	(使用 年)		
			焼損・水損・その他	(使用 年)		
			焼損・水損・その他	(使用 年)		
			焼損・水損・その他	(使用 年)		
			焼損・水損・その他	(使用 年)		

(裏)

動産り災申告書記載要領

(1の欄)

物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

り災した世帯を構成する全ての人を記入してください。

(3の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

(4の欄)

- 1 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。

例) 背広3、靴類30、下着類50、食器類150、本300等

- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(1) 焼損：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。

(2) 水損：消火のために濡れたもの、壊れたもの及び汚れたものなど。

(3) その他：煙で汚れたもの、運び出す時に壊れたもの及び避難する時に壊れたものなど。

- 3 損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積り、また、損害額が見積れない場合は、購入時の価格と使用年数を記入してください。

- 4 ※の欄は記入しないでください。

備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。

2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。

3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。

4 この申告書でわからないことは、下記までご連絡ください。

消防署

電話番号

(内線

番)

調査担当者